

お客様紹介

株式会社モルテン スポーツ事業本部 様

(ISO 9001:2015認証登録)

〔取材者〕 審査員 美濃 英雄
Hideo Mino

株式会社モルテン様は1958年に広島市で設立され、スポーツ用品、自動車部品、医療・福祉機器、マリン・産業用品の4事業を展開されています。社名の「molten(モルテン)」は「melt(溶ける)」を語源とし、「古いものから新しいものに脱皮する」という想いが込められているそうです。

同社は1999年にISO 9001認証を取得、2023年よりインターテックへ認証移行されました。今回ご紹介のスポーツ事業本部では、「運動用具の営業、設計、開発及び付帯サービス」を認証範囲として東京本社を含む5拠点で品質マネジメントシステムを運用されています。また、工業用品事業本部および社会基盤事業本部においても、グループ6法人14拠点でISO 9001およびISO 14001を認証取得・運用されており、事業領域を超えて継続的改善活動に取り組まれています。

このようなISOマネジメントシステムの活用事例を背景に、昨年開催されたインターテックフォーラムでは、技術開発統括部の藤井統括部長にご登壇いただき、「ISO運用事例紹介」をテーマにご講演いただきました。

また、2022年には、各事業の開発拠点を集約したテクニカルセンター[the Box]を開設されました。評価設備やシミュレーション設備、試作設備を集約し、事業横断的な技術交流と新たな価値創出を推進されています。

スポーツ事業本部では、「スポーツの報酬は感情だ」という考えのもと、ブランドステートメント「feel the emotion」を掲げ、人々



テクニカルセンター molten [the Box] (広島市西区)

の感情を動かす製品やサービスの創出に取り組まれています。その一環として、組み立て式サッカーボールを通じて子どもたちの教育を支援する「MY FOOTBALL



組み立て式サッカーボール
「MY FOOTBALL KIT」

KIT」、バスケットボールを通じて子供に働く体験の場を作る「Arch to Hoop」など、スポーツの価値を広げる活動もされています。また、主要4競技(バスケットボール、ハンドボール、サッカー、バレーボール)の国際競技連盟とのパートナーシップを基盤に、公式試合



サッカー用ホイッスル
「バルキーン」

球や競技運営機器などを世界へ提供されています。国際大会をはじめ多くの競技現場で同社製品が活用されており、サッカー用ホイッスル「バルキーン」は、FIFAワールドカップ2026をはじめとする国内外の主要大会で多くの審判員に採用されるなど高い信頼を得られています。

今回の審査では、スポーツ事業本部の製品開発プロセスと品質マネジメントシステムの運用状況について確認しました。市場分析やVOC (Voice of Customer) を活用した顧客ニーズの把握から、設計検証、販売後の改善活動まで、一貫した品質マネジメントの仕組みが構築されていました。企画・開発では、市場ニーズに基づく開発と新たな価値創出に向けた技術開発を両輪で推進されており、継続的改善を支える仕組みと挑戦を後押しする企業風土が同社の強みであると感じました。品質と技術を基盤に、新たな価値創造へのチャレンジが続けられるモルテン様の今後のさらなる発展と飛躍に期待します。



[the Box]内の評価施設 「the Court」